

家族の要因

励まし手となる

ご自分の御国と栄光にあずかるようにと召してくださる神にふさわしく歩むよう、勧め、励まし、厳かに命じました。

Ⅰテサロニケ 2:12 / I Thessalonians 2:12

誰もがみな、特に信仰のために励ましを必要としています

励ましとは：勇気を与えること。成功するように高め、与え、勇気や霊を注いで鼓舞し、心を強め、力づけること。

兄弟たち。あなたがたのうちに、不信仰な悪い心になって、生ける神から離れる者がないように気をつけなさい。

「今日」と言われている間、日々互いに励まし合って、だれも罪に惑わされて頑なにならないようにしなさい。
ヘブル 3:12-13 / Hebrews 3:12-13

ですからあなたがたは、現に行っているとおり、互いに励まし合い、互いを高め合いなさい。
Ⅰテサロニケ 5:11 / I Thessalonians 5:11

かなりの日数がたち、ユダヤ人たちはサウロを殺す相談をしたが、彼らの陰謀はサウロの知るところとなった。彼らはサウロを殺そうと、昼も夜も町の門を見張っていた。

そこで、彼の弟子たちは夜の間に彼を連れ出し、籠に乗せて町の城壁伝いにつり降ろした。
使徒 9:23-25 / Acts 9:23-25

1.あなたが励まし、勧めることのできる人を見出す

エルサレムに着いて、サウロは弟子たちの仲間に入ろうと試みたが、みな、彼が弟子であるとは信じず、彼を恐れていた。しかし、バルナバはサウロを引き受けて、使徒たちのところに連れて行き、彼がダマスコへ行く途中で主を見た様子や、主が彼に語られたこと、また彼がダマスコでイエスの名によって大胆に語った様子を彼らに説明した。サウロはエルサレムで使徒たちと自由に行き来し、主の御名によって大胆に語った。

使徒 9:26-28 / Acts 9:26-28

私たちみな、バルナバのような人を必要としています

バルナバはどのような人？

キプロス生まれのレビ人で、使徒たちにバルナバ（訳すと、慰めの子）と呼ばれていたヨセフも、所有していた畑を売り、その代金を持って来て、使徒たちの足もとに置いた。
使徒 4:36-37 / Acts 4:36-37

彼は立派な人物で、聖霊と信仰に満ちている人であった。こうして、大勢の人たちが主に導かれた。
使徒 11:24 / Acts 11:24

さて、ステパノのことから起こった迫害により散らされた人々は、フェニキア、キプロス、アンティオキアまで進んで行ったが、ユダヤ人以外の人には、だれにもみことばを語らなかった。ところが、彼らの中にキプロス人とクレネ人が何人かいて、アンティオキアに来ると、ギリシア語を話す人たちにも語りかけ、主イエスの福音を宣べ伝えた。

そして、主の御手が彼らとともにあったので、大勢の人が信じて主に立ち返った。
使徒 11:19-21 / Acts 11:19-21

2. 他の人に仕えている人を励まし、感謝する

この知らせがエルサレムにある教会の耳に入ったので、彼らはバルナバをアンティオキアに遣わした。バルナバはそこに到着し、神の恵みを見て喜んだ。そして、心を堅く保っていつも主にとどまっているようにと、皆を励ました。

使徒 11:22-23 / Acts 11:22-23

それから、バルナバはサウロを捜しにタルソに行き、彼を見つけて、アンティオキアに連れて来た。彼らは、まる一年の間教会に集い、大勢の人たちを教えた。弟子たちは、アンティオキアで初めて、キリスト者と呼ばれるようになった。

使徒 11:25-26 / Acts 11:25-26

神のことばをあなたがたに話した指導者たちのことを、覚えていなさい。彼らの生き方から生まれたものをよく見て、その信仰に倣いなさい。

ヘブル 13:7 / Hebrews 13:7